

令和元年度

学校関係者評価報告書

実施日：令和2年3月17日（火）

学校法人斐川コア学園

出雲コアカレッジ

学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和2年3月17日(火) 10:00～

2. 開催場所 出雲コアカレッジ

3. 出欠状況(敬称略)

氏名	役職
小山峰明	前島根県立情報科学高校校長
高田茂明	斐川町商工会事務局長
持田幹男	NPO法人ビジネスサポートひかわ 事務局長
墨田浩志	理事長
山岡雄一郎	出雲コアカレッジ 校長
持田陽子	事務長
佐々木和歌子	教務主任(医療ビジネス科・情報システム科)

4. 学校関係者評価委員会 進行状況

- (1) 開会(挨拶、配布資料確認)
- (2) 学校概要と現状説明
- (3) 質疑応答、助言
- (4) 学校関係者評価表記入

5. 学校関係者評価結果

評価は4段階

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

【学校関係者評価項目と評価点の平均】

評 価 項 目		評価点 の平均
基準 1 教育理念・目的・育成人材像等		
【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか	3.7
【1-2】	学校の特色は何か	3.0
【1-3】	学校の将来構想を抱いているか	2.7
基準 2 学校運営		
【2-4】	運営方針は定められているか	3.7
【2-5】	事業計画は定められているか	3.3
【2-6】	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3.3
【2-7】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3.0
【2-8】	意思決定システムは確立されているか	3.0
【2-9】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.3
基準 3 教育活動		
【3-10】	各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3.7
【3-11】	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3.0
【3-12】	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.0
【3-13】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3.0
【3-14】	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3.3
【3-15】	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.3
【3-16】	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.0
【3-17】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.3
【3-18】	資格取得の指導体制はあるか	3.3
基準 4 教育成果		
【4-19】	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3.7
【4-20】	資格取得率の向上が図られているか	3.3
【4-21】	退学率の低減が図られているか	3.0
【4-22】	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0
基準 5 学生支援		
【5-23】	就職に関する体制は整備されているか	3.7
【5-24】	学生相談に関する体制は整備されているか	3.3

評価項目		評価点の平均
【5-25】	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.0
【5-26】	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.0
【5-27】	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.0
【5-28】	アパートの斡旋等、学生の生活環境への支援は行われているか	3.0
【5-29】	保護者と適切に連携しているか	3.3
【5-30】	卒業生への支援体制はあるか	3.0
基準6 教育環境		
【6-31】	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.7
【6-32】	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.3
【6-33】	防災に対する体制は整備されているか	3.0
基準7 学生の募集と受け入れ		
【7-34】	学生募集活動は、適正に行われているか	3.0
【7-35】	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.0
【7-36】	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.3
【7-37】	学納金は妥当なものとなっているか	3.0
基準8 財務		
【8-38】	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.3
【8-39】	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.7
【8-40】	財務について会計監査が適正に行われているか	3.0
【8-41】	財務情報公開の体制整備はできているか	3.3
基準9 法令等の遵守		
【9-42】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.7
【9-43】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.3
【9-44】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.0
【9-45】	自己点検・自己評価結果を公開しているか	3.0
基準10 社会貢献		
【10-46】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.3
【10-47】	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3.3

6. 意見交換

意見交換時にいただいた意見に対する回答

(1) 学校運営について、昨年から課題もあるようだが、引き続き課題解決に向け取り組んでいただきたい

(2) 施設・設備については専門学校として充実を図るべきであるが、昨年から大きな改善がなされているのか、最新の設備導入に努めてほしい

られた予算の中で、パソコン・機器などは、入れ替えや更新は行っている。出雲コアカレッジ協賛会からも支援をしていただき設備増強を図っている

(3) 専任募集担当が出雲コアカレッジには要るが、募集活動はさらに強化する必要がある

(4) こども福祉科の次年度入学生が少ないようだができればより多くの学生を獲得し養成して欲しいと願っている。

本校の特色を明確にし、1人でも多くの学生獲得につなげたい。

(5) 松江地区の専門学校では、高校からバスを用意し企業や専門学校へ訪問する企画などがあるが出雲地域では同様の企画があるのか

出雲地区では直近2年はやってない。検討する。

(6) 教育事業者による進路説明会は年間どのくらい実施しているのか

高校ガイダンスは12回/年、会場ガイダンスは5回/年 程度実施している

(7) 財務基盤については前年に比べ向上しているので良いのではないかと

(8) 学生の自己評価では情報システム科、医療ビジネス科は概ね満足の評価で良い

(9) こども福祉科の学生の自己評価のなかで、幼稚園教諭の取得の指導に課題があるように見受けられるが

こども福祉科では、幼稚園教員免許の取得を併修している学生とそうではない学生が混在しているため、双方の学生の評価で課題があると認識している。

(10) 学生の自己評価がひいては募集に繋がっていくので、しっかり対応してほしい

(11) 学生自治会などが学生の自主的参加の活動が弱いのでは

こども福祉科の学生で、幼稚園教諭の取得を目指し併修している学生は、日々の学習が多忙でなかなか学生主体の活動ができていないのが実態である。

(12) 学生数が昨年より増えていることは非常に良い

(13) 附帯事業についての取り組みはどうか、今後も継続するのか

学校運営上、非常に重要な事業である。今後も引き続き取り組んでいく

(14) 附帯事業については、地域の意見を聴いて新たな方向性を出してもらいたいし、特に民間企業などから受託できるようなモデルを構築してみてはどうか